

北海道秋の学び推進月間の取組

石狩教育局
平成28年12月7日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

「北海道教育の日」（11月1日）から始まった「北海道秋の学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 石狩市立樽川中学校の取組

外部人材を活用した道徳教育の充実

本校では、年2回、外部人材を活用し、道徳教育の充実に努めています。11月11日（金）には、札幌北警察署生活安全課と連携して生井澄子氏を講師として招き、生命の大切さについて考える講話を行いました。生徒からは「改めて命は1つしかない尊くて大切なもの、そして、自分だけのものではないことに気付くことができた」という声が聞かれるなど、生命の尊さという道徳的価値について自分とのかかわりで考える機会となりました。【講話の様子】



○ 北海道北広島西高等学校の取組

小中高連携による公開授業の実施

本校では、今年度「学び直し」及びアクティブ・ラーニング等の「生徒が主体的に学ぶ授業」をテーマとして授業改善及び教員の指導力向上に取り組んでいます。11月16日（水）～18日（金）に実施された各教科の公開授業には、北広島市内の小・中学校教諭や北広島市教委関係者、大学教授等、15名が参加し、授業参観及び合評会を行いました。参加者からは「生徒による相互評価の実施」などが提案されるなど、課題解決の方策等の協議が行われました。【合評会の様子】



○ 北海道札幌養護学校共栄分校の取組

ボランティアを活用した読み聞かせ会の開催

本校では、年7回、小学部の子どもたちを対象に地域のボランティア「のはなの会」による読み聞かせ会を開催し、今年度で15年目を迎えました。11月の読み聞かせ会では、手あそびや絵本の読み聞かせ、エプロンシアターのほか、新たな企画として「虹の向こうに」の曲に合わせて登場したマリオネットと一緒に歌を歌い、笑顔いっぱいのフィナーレとなりました。毎回、様々な工夫があり、子どもたちは、読み聞かせ会を楽しみにしています。【読み聞かせ会の様子】



「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 石狩市立生振小学校1年 あさり めぐ さん
「べんきょうはなりたいじぶんになるじゅんび」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 恵庭市立恵み野旭小学校6年 岡部 優由 さん
「物語 読めば自分が 主人公」

恵庭市立恵み野旭小学校6年 戸辺 翔也 さん
「勉強は 未来へつなぐ 夢列車」

北海道野幌高等学校2年 山田 考行 さん
「学問は 未来の自分の 貯金箱」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございます。